



福岡医発第 91 号 (総)
平成 29 年 4 月 10 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻一良
(公印省略)

全国医師会研修管理システム操作マニュアル他の送付について

時下ますますご清祥のことと存じます。

生涯教育の推進につきましては、平素よりご理解、ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本医師会生涯教育制度におきましては、学習した時間と内容をよりの確に評価することを目的として、平成28年度に生涯教育制度実施要綱（以下、実施要綱）の見直しが行われたところです。

また、今般、実施要綱のカリキュラムコードと単位の付与基準（1時間あたり1カリキュラムコード1単位指定）に準拠し、各種証明等を可能とする学習実績管理並びに一括申告の支援等を目的としたオンラインシステムである全国医師会研修管理システムが導入されたことに伴い、本会では3月30日開催の第40回全理事会において、研修管理システムを用いた運用について決定し、本件については、3月31日に開催いたしました第2回各医師会生涯教育担当理事者会においてご説明申し上げた通りです。

従来、各医師会で実施された講習会の単位は分散管理されており、共通で講習会の出欠や単位の把握が可能な仕組みではありませんでしたが、全国医師会研修管理システムは、全国の医師会全体での講習会出欠・単位管理の統合管理システムであり、医師資格証を用いた出欠管理も可能となります。

また、開催される講習会情報と医籍登録番号をキーとした出席者情報を登録することで、出席者が各地の講習会で取得したカリキュラムコードと単位を研修管理システム内にて自動的に集計することを可能とし、他県で開催される講習会の検索も可能となります。これにより、研修管理システムに登録された講習会については、講習会当日の参加証の配布、ならびに年度末の申告は不要となる他、単位取得状況の証明等ができるようにすることも目的とされています。

つきましては、貴会には大変お手数をお掛けいたしますが、平成29年4月以降に開催されます講習会につきましては、全国医師会研修管理システムを利用した方法でご申告をいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

日本医師会生涯教育制度は今日、診療報酬体系や新しい専門医の仕組みとの連携を求められるなど、その重要性がこれまでになく注目されていることから、改めて自己研鑽の状況を単位管理という形で内外に明示していくことが必要になってまいりました。本研修管理システムにおいても、上記に対応したシステムが構築されております。

改めまして、貴職のご理解とご協力を賜りますとともに、本件について関係各位へご周知いただきますようご高配の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、

- 1) 現行の生涯教育制度の単位取得者情報は医籍登録番号により管理されておりますが、研修管理システムの単位管理データベースにおいても、本人の特定には医籍登録番号を使用いたします。講習会の開催に際しては参加申込書、芳名帳といった受付名簿等にて、氏名、所属の郡市区医師会、住所などの本人を特定する情報の確認が行われておりますが、全国的な管理システムという性格上、今後は医籍登録番号の確認が必須となります。（貴会所属外医師の医籍登録番号が不明の場合につきましては、本会でお調べいたしますのでご連絡下さい。）
- 2) 県医報・本会ホームページに掲載する生涯教育講座の開催予定表は各医師会で入力された情報を基に作成いたします。本会から校正をお送りしますので、修正・追加等を含めご確認いただきますようお願いいたします。詳しくは、「平成29年4月以降の生涯教育講座について」をご確認下さい。
- 3) 今回のシステム移行については、平成28年度から運用がスタートしておりましたが、本会としては、円滑にスタートさせるための種々の改善要望を行ってまいりました。その準備が年度末となりましたので、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、システムへの入力等についてのご相談を個別に受け付け対応いたしますので、何卒よろしくお願い致します。